

“努力した人だから・・・”

自分の大好きな歌に“～あなたの夢がひとつ叶って、歓声と拍手の中に、誰かの悲鳴が隠れている～”という歌詞があります。今年のオリンピックでも金メダルを取ってガッツポーズをしている後ろで起き上がれない人、観客に笑顔で応えている後ろで涙を流している人など多くのそういう場面がありました。感動的な今回のオリンピックでも？がつく判定、審査があったようです。自分や自分の家族は日本人なので日本びいきに見てしまうところがあるので、日本選手がそういう判定を受けた時には「なんで？」と思ってしまうのは仕方ないのかもしれませんが、海外の選手たちがそういう意見を言う場面も多かったように思います。例えば、スポーツクライミング女子では、日本選手の背が低いため一番下のところでさえ届かず、減点からのスタートを余儀なくされました。それを同じスポーツクライミング女子の海外選手が「この設定はおかしい、差別だ・・・など」と言って日本選手のフォローをしてくれました。この日本選手はメダル候補の選手だったので、日本選手が不利だと、海外の人たちはライバルが一人減って、メダルを取りやすくなるのに・・・と自分のような凡人は思うのですが、やはりオリンピックに出場するような一流選手は、違うようです。同じ条件で、お互いにベストを出して、そこで勝ってこそ意味があると考えているようです。それはオリンピックの舞台に立つまでに、互いにどれだけ努力をしてきたかを知っているからだと思います。また、卓球の女子団体の中国との決勝では、0-3と結果だけみれば、一方的な試合に見えますが、試合の内容は、勝負を左右するポイントが何度もあり、中国チームを追い詰める場面も見られました。（結局そのポイントを日本は取れませんでした）試合中は中国の選手たちの表情は厳しく、日本選手の方が余裕があるというか、楽しんで試合をしているようにさえ見えました。ちなみに中国の選手は、世界ランキング1, 2, 3位で個人戦で金メダル、銀メダルを取っていました。絶対に勝つと思われるプレッシャーは想像以上だったのだと思います。ただ、試合後は日本人選手と笑顔で話をする姿も見られました。オリンピックに出場する選手の中には、相手を尊重する気持ちを持っている人が多いように思います。自分だけが勝てばいい・・・というより、互いにベストを出し切り、その中で勝利をつかみたいという思いを持っている人が多いと感じました。これは、きっと、オリンピックの舞台に来るまでにどれだけ努力をしてきたかを知っているからだだと思います。だから、相手をたたえる場面が多くみられるのだと思います。しかし、努力をしていない人（オリンピックを見る側の人たち）の中には、SNSに誹謗中傷をする人がかなりいたようです。ミスをした人、金メダルを取れなかった人、予選で敗退した人に対してです。とても残念で悲しいことです。努力した人にしかわからないこと・・・それはたくさんあります。自分たちはオリンピックに出場する選手たちのような努力はできないかもしれませんが、努力した人を誹謗中傷することは決してしないようになりたいものです。